

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：平成30年 12月 27日

事業所名：ラビット☆キッズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・活動スペースとしてはやや手狭に感じるが対象が未就学児であるため、そこまでの手狭感を感じない。	・室内は狭いと思うが、公園などに連れて行っていただきありがたいです。 ・もう少し広い方がのびのび遊べと思う。 ・10人という定員を考えると十分なスペースだと思う。	・限られたスペースを有効活用できるプログラムを取り入れた活動を実施しています。公園など外遊びを盛り込み、思いっきり遊ぶプログラムも実施しています。
	2 職員の適切な配置	・確保されている。	・職員によってかなり差があると感じる。 ・子どもにとって安心な方々だと思う。 ・適切な配置の基準が分からない。	・児童2名に対し、職員1名の配置を継続したい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・時計や立ち入り禁止の場所に絵カードを張るなどして、視覚から理解する子どもに配慮した作りになっている。	・写真を使い、物がどこにあるか子ども達にも分かっていると思う。 ・トイレが少し狭く感じる。 ・ゆっくりながらも子どもが自分で身支度出来ていることから子どもにとって分かりやすい生活空間になっていると思う。	・今後も視覚支援を実施していきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・清掃する時間を決め、毎日欠かさず清掃するよう努めている。 ・加湿付き空気清浄器を導入し、乾燥する季節には加湿をしっかりと行い、風邪予防に努めている。	・よく掃除出来ていると思う。	・掃除は今後も継続するとともに乾燥にも一層気を付けていきたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・月に1回以上スタッフミーティングを実施し職員全員で検討会を行っている。		・今後も継続して実施していきたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・実施できていない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・定期的に事業所内で研修を実施している。 ・市町村が実施している研修にも積極的に参加し、その内容をミーティング時に報告してもらい、全員で情報を共有している。		・今後も積極的に参加しさらなるスキルアップを図りたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成			・今後も継続して実施したい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成		・面談時にとっても丁寧に対応して下さる。 ・目的ごとに分類されていると思う。	・今後も継続して実施したい。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載			・今後も継続して実施したい。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施		・利用回数が少ないためよく分からないがこちらの要望には応えていただいている。 ・お箸、スプーン、フォークがまだ上手く使えていない。	・今後も継続して個別支援計画に基づいた支援を実施していきたい。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案			・具体的な部分が見える様、連絡帳に今まで以上に支援内容を記載したり送迎時に保護者に口頭でお伝えしていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援		・多分工夫されていると思いますが、具体的な部分が保護者に見えない為、何とも言えない。 ・色々活動内容を教えて下さり子どもも楽しい様子です。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・月に1回以上遠足に出かけている。その際も季節などを考慮し、夏や冬は工場見学など室内活動、春、秋は大型公園や動物園などへ行っている。また全員が1年に1回以上行ける様、毎月実施曜日を変えている。		・遠足は今後も継続していきたい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・活動直前に本日実施する支援内容を伝え、その際同時に役割分担を伝えている。		・今後も継続していきたい。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・新たに実施した支援に関しては、その支援を行った結果どうであったかをスタッフノート等を利用して情報共有を図っている。		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日々の支援に関しては保育日誌にて記録・管理している。支援の検討・改善に関しては2か月に1度ケース会議を実施し、職員全員で検討している。		・今後も継続していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・実施している。	・今後も継続していきたい。	
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・ほとんどの児童がセルフプランのため、担当者会議自体実施されていない。	・相談支援専門員の人員が増え、相談支援に係る児童が増えることを願う。 ・関係事業者と共に考え、相談し合えるような関係を作っていきたい。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・対象児童が現在いない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・対象児童が現在いない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・情報共有出来ている機関と全く出来ていない機関とがある。	・対象児童が通園している幼稚園等とは全ての園と連携をとっていきたい。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・希望者を募り、出来る限り希望者全員が受講出来る様にしている。	・今後も継続していきたい。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・機会を持っていない。	・利用回数が少ないためよく分からない。 ・利用前の説明では近くの保育園にも行くと聞いていたが実際に行くと聞いたことがない。	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営				
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に説明しています。	・とても丁寧に説明してくれます。 ・今後も継続していきたい。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明			
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		・行われているのかよく分からない。もし行われているのであればどれがそれに該当するのか理解出来ていない。 ・家族支援プログラムが分からない。 ・通いだしてから少し落ち着きが出てきた様に思うが親に対してもっと○○したほうがよいや○○をさせてみて等のアドバイスがもう少しあっていいかなと思う。	・現状連絡帳や送迎時、メールなどでの質問の際にアドバイス等をさせていただいているがもう少し具体的な支援内容を保護者の方とお話し出来る様努めます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		・連絡ノートが唯一の手段でありがたい。 ・いつも詳しく教えてもらっている。	・今後も連絡帳等を利用して発信していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・連絡ノートやメール、個別面談などに相談される悩みに対し、その場でアドバイスをしたりお手紙をお渡しするなどして対応している。	・面談時に悩みなどを聞いていただいているが面談の頻度をもう少し増やして頂きたい。 ・他の保護者の事が全く分からないので交流会みたいなものがあれば参加したい。 ・定期的に悩みを聞いていただいているが支援者側からの指導・助言がもう少し欲しい。 ・親切に相談に乗ってくれている。	・こちらから案内で出している面談は6か月に1度の頻度であるが、それ以上を希望される方に関しては別途期間をもう少し詰めることも検討いたします。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		・他の保護者との関わりはほとんどない。 ・他の保護者の事が全く分からないので交流会みたいなものがあれば参加したい。 ・保護者会があることを知らない。	・このアンケート実施後に茶話会を実施した。 今後の茶話会などで保護者同士の交流をもっていただく機会を設けたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約書に苦情相談窓口の掲載をしています。	・その様に感じる機会がない。 ・心配事など細かに対応してくれている。	・現状苦情相談がない状態です。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		・スタッフのみなさん優しいです。	・今後もお子さんに寄り添った支援が出来る様、職員一同お待ちしています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・月に1回会報を発行し、園での様子を記事や写真などでお知らせしている。	・ホームページの確認ができません。	・現在ホームページも開設し、定期的に活動内容(主に遠足)を公開しています。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・ホームページや会報の作成に辺り、全ての方にお子さんの写真を使用してもよいか確認しています。		・これまで通り取扱いには十分配慮します。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底			
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施		・訓練をしているかわからない。 ・説明はあったが訓練をしているかわからない。 ・定期的かどうか分からない。	・定期的に訓練を実施し、その内容をHPにて掲載します。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・年に1回、スタッフミーティング時に研修を実施。 ・市町村が実施する虐待防止研修への参加。		・今後も年1回以上の虐待防止研修を行うとともに、職員間でも今行っている支援内容が虐待になっていないか見守りたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束を行う恐れのある児童に対してはこういった際に行う事があるという同意書を頂いた上で個別支援計画書にも記載している。		・今後も同様の対応を行っていきたい。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・現在アレルギーのあるお子さんに関しては面談時に相談させて頂き、昼食を除去食にするか持参にするか話し合いをさせていただいている。		・今後も継続していきたい。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・定期的に共有を行っているが、まだ適切とは言えない頻度である。		・ヒヤリハットがあった場合はすぐに記録をしスタッフミーティング等で共有を図る。